

令和6年度 第1回多治見市かわまちづくり協議会議事録

(要点筆記)

□開催日時 令和6年7月16日(火) 14時～15時30分まで

□開催場所 多治見市役所駅北庁舎 4階大ホール

□議 事

1. あいさつ
2. 委員紹介及び委員委嘱
3. 副委員長の選出
4. 議題
 - (1) 令和5年度 専門部会の活動報告について
 - (2) 多目的広場～虎渓大橋までの設計状況について
 - (3) 令和6年度 社会実験(予定)について
5. その他

□会議の公開 多治見市情報公開条例(平成9年条例第22号)第23条の規定により公開

□出席委員 加藤 泰治、水野 利之、波多野 純一、加藤 賀裕、小口 英二、佐藤 円一郎
岩塚 慎二、加藤 敬次、飯田 道広、市川 東大、三浦 弘禎、佐藤 秀樹
長江 信行(代理:久田 伸子)、橋本 典和(オブザーバー)
(欠席:村手 洋之、佐竹 貴行、西尾 太志、上山 雅正(顧問))
(敬称略)

□事務局 多治見市建設部道路河川課・経済部産業観光課
国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所流域治水課

発言者	発言内容
事務局	令和6年度 第1回多治見市かわまちづくり協議会を開催する。 委員長が選出されるまで司会進行を行う。
1. あいさつ	
委員長	令和6年度の第1回のかわまちづくり協議会にご参加いただきましてありがとうございます。新しいメンバーを迎えての今年度1回目の協議会ということで始めさせていただきます。改めまして委員長を務めさせていただきます。飯田と申します。 私は記念橋の北詰めところに60年以上住んでいることもあり、協議会の委員長をやっています。こうして新しいメンバーが入ると緊張感がありますが、限られた時間の中で忌憚のないご意見聞きながらいい事業になればいいと思いますのでよろしくお願いします。
事務局	多治見市役所建設部課長の宮上と申します。暑い中、お忙しい中ありがとうございます。次第に沿って進めて参ります。まずは建設部部长佐藤よりご挨拶させていただきます。
委員	ご多用のところご出席いただきありがとうございます。 かわまちづくり事業は記念橋上流の工事が進むとともに、魅力を高めるソフト事業、社会実験を令和5年度に展開されてきたところです。本日はそのような事業の進捗を共有させていただきまして、今後に向けた皆さんのご意見、アドバイスを頂戴できればと考えています。
事務局	では、事務局で進行させていただきます。 この会議は多治見市情報公開条例に基づき、公開をすることとなっております。会議の議事録につきましては事務局で要旨をとりまとめ、委員の皆様にご確認いただき発言者の名前を公開せずにホームページで公開する予定となっております。 最初に資料のご確認をお願いします。
2. 委員紹介及び委員委嘱	
委員長	それでは、新しくメンバーが変わりましたので事務局の方で紹介をお願いします。
事務局	新たな委員の皆様には令和6年4月1日から前任の方の任期である令和7年3月2日までを多治見市かわまちづくり協議会設置要綱にもとづいて多治見市長から委嘱をさせていただいております。 本来であればここで自己紹介をいただきたいところですが、時間の都合上委員名簿にてご紹介にかえさせていただきます。 事務局は引き続き多治見市役所道路河川課、産業観光課、国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所流域治水課が担当します。

3. 委員長及び副委員長の選出	
事務局	続きまして、前副委員長の山本委員の退任の伴い空席になっている副委員長の選任を行います。副委員長は、多治見市かわまちづくり協議会設置要綱第5条の規定により、委員のうちから選出することとなっています。今ご列席の委員の方から立候補、ご推薦ございましたらお声を上げていただけますでしょうか。 ないようでしたら、事務局から提案させていただきますがよろしいでしょうか。 (異議なしの発言あり) それでは、副委員長には土岐川観察館の加藤委員にお願いしたいと存じます。 (異議なしの発言あり)
副委員長	4月から土岐川観察館の館長を務めております加藤と申します。 まだ、素人ではありますが委員長の力になれるように頑張ってお参ります。
4. 議題 (1) 令和5年度 専門部会の活動報告	
事務局	令和5年度の社会実験について報告及びアンケート結果の共有を行った。 実施事業 ①令和5年6月11日(日) たじみエコカレッジ ②令和5年7月28日(金) りばーぴあ2023 ③令和5年9月17日(日) ガサガサ探検隊 上級編 ④令和5年11月3日(金・祝) 自衛隊の車に乗ってみよう ⑤令和5年11月12日(日) たじみまちなか 風景見つけ旅 アンケート結果に関して、利用については自然体験や子どもに遊び場という意見が多かった。必要と思う設備に関してはトイレや手洗い場が必要という意見が多かった。
委員	管理施設が多目的広場にあたる部分に面しているため、駐車場は、夜間はいれないようにしてほしい。また、基盤整備の様子を施設から見ていたが、徐々に利活用できる環境が整ってきており、また施設から行ける箇所もコンクリート整備が進み、歩きやすくなっていると感じた。
委員	なかなか多くの方が参加されているので今後もよい感じで進められると思うが、来場者が必要なトイレや駐車場の整備が必要であり、駐車場が15台というのはいかがなものかと感じた。
事務局	基盤整備・施設・イベント・計画に関するご意見についての共有を行った。また多目的空間と周辺整備について(進入路、トイレと手洗い場等)

	も共有した。
委員	多目的空間にトイレや手洗い場はあってもよいと思うが、水につく可能性があるからつけないか？
事務局	⇒ポンプの関係で多目的空間の方への設置はできない
委員	長い目で見た時に修道院や永保寺との連携や、歴史など時間軸への配慮も必要であり、大人が優雅に楽しめる空間になったらいいと感じている。
委員	昨年度、社会実験等でこの場所を使わせていただいた。その際は整備前の草取りなどが大変だった。多目的とはいえ、用途を想定して整備をしていかないと用途が多すぎて何に使ったらいいか分からなくなってしまいう可能性がある。どのような利用があるか何が必要かをしっかり考えて進める必要がある。
委員	今回この計画を初めてみたが、目的や施設の位置をしっかり検討していければと思う。また河川付近のため増水時の危険性等の配慮が大事かと思う。
委員	昨年度のウォーキングの社会実験に参加したが、まちなかには昔ながらの商店や新しい施設もできたオリベストリートもあるため、ルートを大きく広げ、修道院や永保寺に行くような大人の散歩ができるようになるといい。 また、せっかく「かわまち」なので、水辺に近づけるようなものになっていくのもいいのではないかな。
委員	色んな種類のイベントを実施する中で、どのような用途がふさわしいのかどうかマトを絞っていき、最終的には専用の場所になるのがいいのではないかなと思う。今年度の社会実験も様々な内容があると思うので検証していくのがよい。
委員	公園をいかに有効活用するかを検討する中で、民間の力を借りる場合は電気、水道が必要であり、逆にそれがないとやりにくい。これから何にどう使うかを検討する中で水や電気の配置なども考え設計していく。
委員	それぞれの世代、立場などから様々な意見が出ていると感じており、これからも丁寧な議論と対応をして進めていくのが大事。 青年会議所も多治見市の地域団体であり、協力していきたい。
委員	子どもたちが遊べる水辺ができるとよい。現在が河川で遊ぶと危ないと言われるのが一般的だが、だからこそ水辺の学習ができるようなイベントを検討していただくとよいと思うし協力もする。

副委員長	暑さ対策が大事と考える。設備に関しても屋根がある、日陰ができるなど安心安全に企画ができ、熱中症対策ができる場所として機能させることが大事。
4. 議題 （2）多目的広場～虎渓大橋までの設計状況について	
事務局	基盤整備の状況と今後のスケジュールについてを共有。 多目的広場の整地伐採は今年6月に完了している。令和6年11月～令和7年1月を目途に、階段護岸等、散策路の基盤整備に着手し、令和7年度中に整備完了を予定している。 また多治見市としては、並行して利活用における進入路や駐車場などの施設の設計、具体化と利活用の検討のための社会実験を進めていくと聞いている。
委員	歴史を振り返ると、かつて多治見は日照りが続いており、いかに水を確保するかが課題であった。そのため虎渓用水が生まれたのだが、江戸時代には現在本事業を計画しているところを通っていた。そのため、その歴史を込めて進めることが、子ども達にとっては郷土愛を深めるきっかけにもなるという点と、駅北の虎渓用水広場との繋がりという点で大事。
委員	事業スケジュールの中で庄内川河川事務所の基盤整備は令和7年度までに完成とあり、多治見市の施設整備はそれ以降となっているが間違いな いか？
事務局	その通りです。
委員	事業スケジュールおける、多治見市の除草はどのぐらいの頻度を検討しているか。 また、本事業が始まる前から清掃活動をしてきているが、これから先行っていてもよいか。
事務局	年3回程を予定しているが、それ以外に水がついたり大きなものが流れてきたりなどあればその限りではない。また、実施時期としては春～秋を想定しているが、大きなイベントの前などになると思う。実際の清掃活動は引き続き行っていただけると大変ありがたいので、実施時期は都度相談しながら行いたい。
4. 議題 （3）令和6年度社会実験（予定）について	
事務局	今年度実施予定の社会実験についてを共有した。 実施予定事業 ①リバーピア2024 ②自衛隊企画 多治見まつりとの関係で実施時間の延長を検討

	③自然探訪（秋） 自然観察をメインとしたウォーキングイベント ④熱気球企画とまちなか散策企画 ⑤アウトドア入門（初級編） また、移動式のサウナも案の1つとして検討している。
委員	自然探訪に関して距離がわかる表記が必要と感じた。
委員	それぞれのイベントでどれだけ多くの参加者を集められるかが大事であり、そこで集めたアンケート結果が非常に大事。他団体との連携やSNS等を駆使して幅広い方に周知して、たくさんの方に来ていただくことが検証に繋がる。広報に詳しい方にもしっかり聞いて広げていくことがよりよい事業に繋がる。
委員	自然探訪のスタート地点を明確にするとよい。多くの方が来ればよいと思うが、駐車場のこともあるのでうまくフィックスしていきたい。
委員	周知が大事。SNSなど多様な手法で届けることをしていく。
委員	社会実験において、イベントの目的、ターゲット（市民の健康づくりなのか、観光で外から人を呼ぶかなど）をしっかりと決めることが大事。 ただ、賑わいをつくるだけでなく、地域の活性化に繋がる稼げる企画を目指していきたい。それは単独なのか連携して行うかなども関係している。 また、常設を考え、日常で使っていける形にするには運営する業者のことも想定しながら企画を考えることも大事。
委員	自然探訪において、永保寺、修道院などアピールポイントをしっかりと打ち出すことが大事。 まちなかのウォーキングに関しては、マップを制作する際に、商店街のお店をプロットしていくのがよい。
委員	熱気球は無料で参加できるか。 （無料の旨を事務局より回答） 毎年やるなら人気が出そうと感じており、例えば商店街を回ってポイントを集めたら気球に乗れるとかでも人気が出ると思う。 自然探訪においては、時間も長いのでトイレや休憩スポットを準備しておくとうい。 アウトドア入門編に関しては近隣店舗と連携していくのがよいと考える。
委員	熱気球及びアウトドア入門に関しては運営、現場担当になると思うが、今回のご意見と多治見市の意見をしっかり聞いて運営していく。
委員	熱気球に関して大人も乗れるのもいいし、お子さま向けにも人気にな

	ると思うのでとても良い企画。
委員	ウォーキングに関して、宮前通りには陶芸作家さんの展示もあるので、ルートに入れてスタンプラリー形式にしてもよいのではないか。
事務局	社会実験に関しては案であり、変更追加もあると思うがご承知おきください。またイベントに関しては委員の皆様の周知、またご都合が合いましたら参加をお願いします。
5. その他	
事務局	・土岐川豊岡地区の右岸堤防の完成について ・今後の予定 専門部会を年度内2月を目途に開催予定